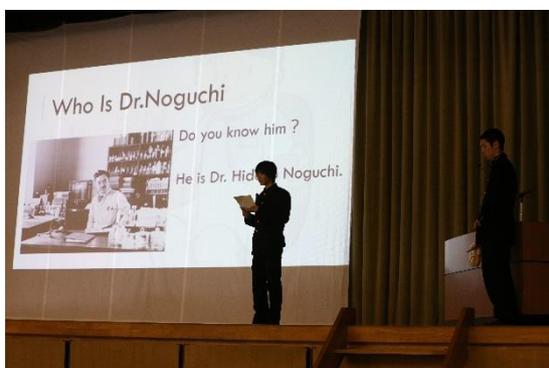


## 平成 27 年度『復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業』における 生徒課題研究発表会を実施しました

『復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業』における成果を発表する場として、平成 28 年 2 月 22 日（金）、本校南体育館にて生徒課題研究発表会を行いました。

発表会は二部構成で行われ、司会班の生徒が進行を務めました。

第 1 部は、3 月にアメリカ研修に行く生徒たちが、アメリカでのプレゼンテーションを想定して英語で発表を行いました。3 つの班がそれぞれ「地域の生んだグローバルリーダー 野口英世」、「震災から 5 年 油断できない自然災害」、「RECOVERY 復興」をテーマに福島の現状を伝えました。



第 2 部は、グローバルリーダー代表班が「輝け！福島 ～地域の活性化～」と題し福島の活性化のための課題について発表しました。

まず「導入班」が独自の福島活性化サイクル（観光客増加、雇用の創出、子供の増加、定住者増加）を提案し、それを受ける形で 4 つのグローバルリーダー代表班が「小児医療の充実」「IT とロボットの活用～医療のこれから～」 「観光客を呼び込もう」「原子力に頼らない発電」をテーマに発表を行いました。最後に「まとめ班」が福島活性化サイクルを力強く伝えました。



発表の後、本事業の運営指導委員でもある福島大学人間発達文化学類文化探求の初澤敏生教授と、本校と教育連携協定を結んでいる東北大学高度教養教育・学生支援機構の島田和久

准教授よりご講評をいただきました。

初澤教授からは「地域の問題、すなわち福島県の問題についてしっかり対策を考えていて素晴らしい。」、島田教授からは「アメリカ研修班の英語力は高く、グローバルリーダー班の学習や調査を重ねて本質を理解し、解決策を提示するという姿勢は大切。難しい問題も解決できるグローバルリーダーに育ってほしい。」との激励の言葉をいただきました。